

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【公開番号】特開2010-186990(P2010-186990A)

【公開日】平成22年8月26日(2010.8.26)

【年通号数】公開・登録公報2010-034

【出願番号】特願2010-1421(P2010-1421)

【国際特許分類】

H 01 S 3/08 (2006.01)

H 01 S 3/23 (2006.01)

【F I】

H 01 S 3/08

H 01 S 3/23

【手続補正書】

【提出日】平成24年11月5日(2012.11.5)

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0103

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0103】

斜め下方向に反射されたシードレーザ光は、增幅領域30を通過して増幅され(第7パス)、折返しミラー42に0度よりも大きな入射角で入射して斜め下方向に反射され、增幅領域30を通過して増幅され(第8パス)、折返しミラー38に0度よりも大きな入射角で入射して斜め下方向に反射され、増幅領域30を通過して増幅される(第9パス)。増幅されたレーザ光は、出射ウインドウ36を透過して出射ビームとして出力される。出射ビームの光路上において、折返しミラー38から距離2Dだけ下流側の位置に、第1の点34における入射ビームの像が転写される入射ビーム転写像位置(第2の点)35が定められている。ここで、第1の点34と第2の点35とは、物点と像点の関係にあって互いに共役な関係となっている。